

合言葉は「2020年、オリンピック・パラリンピックを日本で!!!」

オリンピックを呼ぼう

～2020年オリンピック・パラリンピックを日本で!～

TOKYO MX 12月29日(土)19時30分～

2020年オリンピック・パラリンピック招致運動に強力な助っ人が登場!! 2020年オリンピック・パラリンピックの開催都市に立候補している東京。ライバルはイスタンブール、マドリード。都市力、開催能力など実務面では東京は他の2都市を圧倒している。しかし問題は国内支持率。招致委員会が10月に独自に行った都民の五輪開催支持率調査では、「賛成」が67%。8月の前回調査から1ポイント上昇したが、ライバル都市のイスタンブールやマドリードを依然下回っており、招致機運の一層の盛り上げを迫られている。2016年招致に比べれば大きく伸びてはいるがまだ足りない。「こんなことではイカン!」とばかりに、テリー伊藤の指令のもと、TETSUYA (EXILE)、Aya (E-Girls)、佐々木正洋アナが支持率アップに、西から東へ東京を走り回る!? 合言葉は「2020年、オリンピック・パラリンピックを日本で!!!」

29日放送の第3回では、テリー伊藤の「2020年のオリンピックのメダリストになるかもしれない、そんな将来有望な子どもを見つけてきてください!」という



指令を受けた佐々木アナが、大森のAACCへ足を運び、キッズレスリングの森川海舟(かいと)君を紹介する。

森川君は小学校に入学する前の5歳から小学校の6年生まで「全国少年少女レスリング選手権」を7連覇中。いわば「キッズ版」吉田沙保里といったところ。

AACCでは夕方になるとキッズレスラーが集合。この日は約30人が練習していたのだが、その中でも一際目立つ動きをしている少年が森川君。実は柔道で黒帯を持つ佐々木アナも森川君の動きに思わ

ずため息をもらす。昔取った杵柄とばかり、森川君のタックルを受けてみようという佐々木アナ。32kg級の森川君に対して「約70kg」という佐々木アナ。果たして結果は……。

そしてインタビュー収録中に思わぬ朗報が届く。このサプライズには佐々木アナをはじめ撮影クルーもびっくり。詳しくは放送で!!

東京オリンピックを生で体験した人たちを求め都内を走り回ったカメラが今回向かったのは戸越銀座商店街。ここには1964年の東京オリンピックで聖火ランナーを務めた鈴木満さんにもインタビュー。

スタジオに戻ると佐々木アナとTETSUYA、Ayaが2020年に東京でオリンピ

ック・パラリンピックが開催されたら「何をやりたい!」というテーマでガチトーク。TETSUYAとAyaの「〇〇をやりたい。いや、やります」という力強い宣言に、佐々木アナがあたふた。さて2人が2020年東京オリンピック・パラリンピックが実現した時にやりたいことは…。



TETSUYA、佐々木アナ、Aya (左から)



テリー伊藤
(演出家)

【出演】テリー伊藤、TETSUYA (EXILE)、Aya (E-Girls)、佐々木正洋